

ストップ! 拡大



外来種

北海道 支笏洞爺国立公園

有珠山周辺 外来植物防除マニュアル



外来種ってなに？

・ ・ ・ 1

外来種を拡げないために

・ ・ 2

こんな悪影響が...

・ ・ ・ 3

私たちにできること

・ ・ ・ 4

外来植物を
どうやって駆除するの？

・ ・ ・ 5

こんな生物も
外来種なんです

・ ・ ・ 11

外来種ってなに？

外来種とは、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことを指します。

海外から日本に持ち込まれた生物はもちろん、日本国内のある地域から、もともといなかった地域に持ち込まれた**国内外来種**も、もともとその地域にいる生物に影響を与える場合があります。

オオハンゴンソウなど



ペットや園芸用に
海外から
意図して持ち込まれたもの

オオブタクサなど



種が穀物に混ざるなど
海外から
意図せず持ち込まれたもの

カブトムシなど



日本国内のある地域から
もともといなかった地域に
持ち込まれた

国内由来の外来種も増えています！

外来種を拡げないために

環境省は、外来種による被害の拡大を防止するため、平成16年に**外来生物法**を定めました。
この法律の中で、**特定外来生物**に指定された生きものに対する以下の行為を規制しています。

こんなことはできません！

飼育・栽培



運搬



保管



輸入



野外に放つ/植える/まく



許可を受けていない者
に対しての譲渡/受け渡し



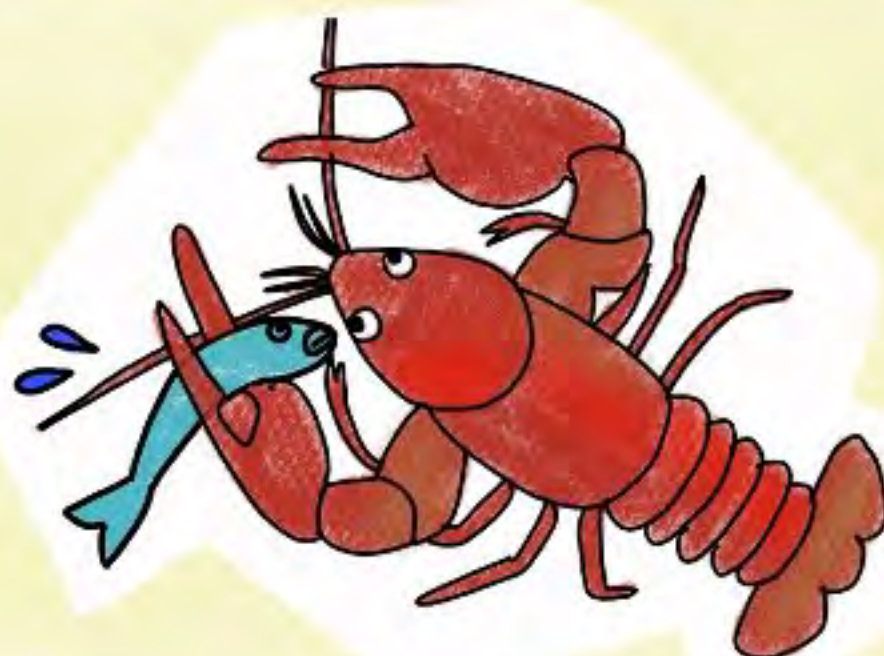
不正に輸入したり、逃がしたり、飼育・栽培したりすると
最高で懲役3年、罰金300万円(個人)、もしくは1億円(法人)
が課される場合があります！

こんな悪影響が...

外来種は生態系に影響するだけでなく
「人の生命やカラダ」「農林水産業」にも影響を及ぼします。
一度定着した外来種をすべて取り除くことはとても難しく、
多くの時間と多額の費用を必要とします。

生態系への影響

- 在来種を食べてしまう
- 雑種を作ってしまう
- 在来種のすむ環境を奪ってしまう
(光やエサ、場所の取り合い) など



人の生命・カラダへの影響

- 毒や寄生虫を持っている
- アレルギーのもとになる
- 人を噛んだり刺したりする など



農林水産業への影響

- 農作物を食べてしまう
- 農地の雑草になり、農作物や木材の生産量を減らす
- 漁獲量を減らす など



私たちにできること

外来種への対策では、被害を発生させないための**予防**も重要です。被害の予防にむけ、環境省では以下のような**外来種被害予防三原則**を作成しています。みなさんでこの原則を心にとめ、行動することが重要です！

外来種被害予防三原則

1 入れない

自然への悪影響が明らか、あるいは、未詳な外来種をこれまで分布していなかった地域に**入れない**



2 捨てない

飼養・栽培している外来種を適切に管理して**捨てない**
(逃がさない、放さない)



3 拡げない

既に野外にいる外来種を他地域に**拡げない**
(増やさない)



外来植物を どうやって駆除するの？

有珠山周辺で特に対策をすべき、外来植物の見分け方や駆除方法について、このページから紹介します。

駆除の方法



抜き取り

- 寒い冬でも土の中で地下茎や根が休眠し冬を越す**多年草**に効果的
- 生命力が強い地下茎や根をしっかりと抜き取り、土の中に残さない



刈り取り

- 種から成長して一年で枯れる**一年草**に効果的
- 地上部を刈り取り、成長・分布を抑える
- 年に複数回実施する

駆除作業での注意事項&ルール

- 種などの落下・飛散がないように注意する
- 駆除した植物はゴミ袋に入れて口をしっかりと閉じすぐにゴミ回収へ！
(長期間の保管や移動・運搬は規制されています)



外来植物を見つけた場合は、
自宅に持ち帰って庭に植えるなどはせず、
拡散を防止し生態系を守るために
駆除へのご協力をお願いします。

環境省 緊急対策外来種・特定外来生物

オオハンゴンソウ

生態的特性

国外由来の外来種

北アメリカ原産

キク科 多年草 開花: 7~10月

茎が集まり、束状になる

主な生息地

湿原、林床、空地、荒地など



駆除の方法

根から抜き取って、適切に処分(焼却)する!



環境省 重点対策外来種

オオアワダチソウ

生態的特性

国外由来の外来種

北アメリカ原産

キク科 多年草 開花:7~9月

茎が集まって束状になり、地上で枝分かれする

主な生息地

湿原、湿地、空地、荒地など



高さは50~150センチに



花の咲く7~9月は
見分けやすい!

駆除の方法

根から抜き取って、適切に処分(焼却)する!



アメリカオニアザミ

生態的特性

国外由来の外来種

ヨーロッパ原産

キク科 二年草

開花:8~9月

主な生息地

自然草原、空地、荒地など



駆除の方法



綿毛のついた種子の散布を防ぐ。多年草だが、
抜き取りの際に鋭いトゲによりケガをする可能性があるため、
つぼみができる前に根元付近から刈り取る。
刈り取り後も茎が成長し種子散布するため、複数回実施する。



フランスギク

生態的特性

国外由来の外来種

ヨーロッパ原産
キク科 多年草 開花:6~8月
種子と地下茎から繁殖

主な生息地

亜高山帯、空地、荒地など



高さは30~60センチに



駆除の方法

根から抜き取って、適切に処分(焼却)する！



低木・高木

簡単に駆除することはできませんが
影響を注意深く見守る必要があります！

イタチハギ

生態的特性

国外由来の外来種

北アメリカ原産

マメ科 落葉低木

主な生息地

河川敷、海岸、亜高山帯、
リンゴ園周、空地、荒地など



冬は落葉する低木。
イタチの尻尾のような
ムラサキの花が咲く。

カラマツ

生態的特性

本州中部などが自生地で

北海道では国内外来種

落葉針葉樹

日本に自生する針葉樹の中で唯一、
秋になると黄葉し落葉する。



こんな生物も 外来種なんです

かわいくても注意が必要！
生態系などにも大きな
影響を与える外来種です。

アライグマ



かわいいですが
凶暴です！

ウチダ ザリガニ



ニホンザリガニを
食べてしまいます。

アカミミガメ



夏祭りの
「ミドリガメ」のことです。

カブトムシ



本来、北海道には
生息しない「国内外来種」。

ニジマス



美味しいけど、外来種！

メ 毛

メ 毛

植生調査や防除活動を行なっています！

洞爺湖や有珠山の周辺では、火山噴火の際にできた火口群や断層などの地形、災害遺構群、噴火の影響を受けた場所での植生の回復が進む様子などを観察できます。

しかし、近年になって外来植物が増え、この地域にもともとある自然の観察に支障が出てきたことから、洞爺湖有珠火山マイスターネットワークでは、2019年から3か年、環境省の業務を受けて在来種や外来種の植生調査を行うとともに、西山山麓散策路外来種駆除を行ってきました。



令和3年度 防除活動の様子

豊かな自然を守るために
地域の問題として
みんなで考え行動しましょう



2021年度発行

【編集・発行】 洞爺湖有珠火山マイスターネットワーク

【イラスト】 田中 博子

【参考】 環境省「日本の外来種対策」

北海道「北海道ブルーリスト100」

【協力】 露崎 史朗(北海道大学教授)

一般社団法人 噴火湾とようら観光協会

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会

このマニュアルは、環境省「令和3年度支笏洞爺国立公園有珠山周辺植生遷移管理等業務」において作成したものです。

印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料「Aランク」のみを用いて作成しています。